

キャラクター名 フウ  
プレイヤー名

種族	バジリスク	種族特徴	邪視と瞳石、猛毒の血液、魔物化、弱点(水氷+3)		
生まれ	部位操者	性別	女	年齢	不詳
冒険者Lv	8	経歴	人族に弱みを握られている		
経験点	950		一匹狼である 特定の相手に恨みを買っている		

能力値	A-F	成長	他修正	能力値	ボーナス	技能	Lv.	技能	Lv.
器用度	7	7		23 + 1	4	シューター	8	フィジカルマスター	1
敏捷度	11	7		27	4	マジテック	1		
筋力	11	4		26	4	スカウト	6		
生命力	4			15	2	エンハンサー	5		
知力	6	8		27 + 1	4	アルケミスト	2		
精神力	6	8		27	4	ライダー	8		

戦闘特技		言語	会話	読文
トレジャーハント	2120p	交易共通語	○	○
ターゲットィング	1-280p	ドレイク語	○	○
狙撃	1-293p	汎用蛮族語	○	○
武器習熟A/ボウ	1-281p	魔動機文明語	○	○
射手の体術	2-227p	妖魔語	○	
	p	バジリスク語	○	○
	p			
	p			
	p			
	p			
	p			

練技/呪歌/騎芸/賦術	
キャッツアイ	ヴォーパルウェポン
MUSCLE BEAR	
ガゼルフット	
ストロングブラッド	
ケンタウロスレッグ	
以心伝心	
騎獣強化	
攻撃阻害	
高所攻撃	
人馬一体	
姿勢堅持	
限界駆動	
超高所攻撃	
クリティカルレイ	

技能	基本 レベル	基本 命中力	基本 回避力	基本追加 ダメージ
ファイター	0			
グラブラー	0			
フェンサー	0			
シューター	8	12	12	12

鎧と盾	必要						
	ランク	筋力	回避力	防護点			
鎧	慈雨女神の神装束			5	1	2	
盾							
その他補正(防具習熟/回避行動 etc)				1			
回避技能	シューター			合計値		14	2

武器	用法	必要筋力	命中修正	命中力	C値	追加ダメージ	威力	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
つきまとうボールドアサーター <small>射程20m、アビス加工(C値-1)、織物の一撃、妖精の武闘炎、水・氷、イグニダイト加工</small>	2H	25	1	2d+ 13	9	14	40										
スィフトボウ+1(予定) <small>射程20m 26,620 G</small>	2H	7	0	2d+ 12	10	14	17										
ヘビーボウ <small>射程20m</small>	2H	17		2d+ 12	10	13	27										
ヘビークロスボウ <small>射程30m</small>	2H	10		2d+ 12	10	9	25										
サーペンタインガン <small>射程10m,装填数3</small>	1H	1		2d+ 12	11	5											
				2d+													
				2d+													
				2d+													

制限移動	通常移動	全力移動	回避	防護点	HP	魔法技能	Lv.	魔力	魔法技能	Lv.	魔力
3 m	29 m	87 m	2d+ 14	2	41	魔動機術	1	5			
魔物知識/弱点	先制力	生命抵抗	精神抵抗	MP							
2d+ 12/×	2d+ 10	2d+ 10	2d+ 12	32							

装備品	説明
頭 マギスフィア(小)	
耳 スポッタードール	狙撃時の命中+2
顔 紅蓮の頬当て	☆1日1回1R間炎属性の物理ダメージ+3点
首 熊の爪	マッスル時に筋力ボーナス+1
背中 補充の矢筒(消費MP3で矢補充)	鎧矢/念動x3//雷鳴/風乗x2//閃牙/癒やしx1
右手 器用の指輪	
腰 アルケミーキット	
足	
その他 狩人の目	まもちき成功時命中+1

装備品	説明
左手 知力の指輪	

その他メモ	自動失敗 チェック
「いらっしゃいませ〜ご注文はお決まりでっしゃるか〜」	
「じょーだんじょーだんやて。うちは嘘つきやからなー、んふふ」	□□□□⑤
「うちの名はフウ、ふーちゃんって呼んでもええよ。ほなよろしゅうな〜」	□□□□⑩
閉じた左目の大きな傷跡と、独特の方言が特徴的な魔動バイクライダー。	□□□□⑮
たまに輝き亭で給仕のバイトをしている。扉や窓をよく壊す(弁償のため)。	□□□□⑳
右目は常に開きっぱなしであたかも人間のように振る舞っているが、彼女の本当の種族はバジリスク。邪視の発動しない右目には、何か理由があるのだろう。	□□□□㉑
嘘について人をからかうのが好きだが、場の"流れ"を乱すことを良しとしない事なかれ主義でもあり、	□□□□㉒
その場合や、自身について訊かれた時には適当な嘘をついたり、口癖のように「まええけどなー」と流してしまう。	□□□□㉓
	□□□□㉔

